

(様式 2)

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書 (引率者用)

平成 23 年 10 月 26 日

所属・職名：教育文化学部・教授

氏名：吉永 慎二郎

研修期間：平成 23 年 9 月 15 日～平成 23 年 9 月 30 日

研修先：英文 Hei long jiang University、Yin xu Museum

：和文 黒龍江大学、殷墟博物館

○研修成果

二週間にわたる研修のうち前半は黒龍江大学に起居して留学生として語学研修に取り組み、後半は北京、安陽に移動して中国の古代から現代にいたる文化史跡や文物を見学し、特に安陽には四日間滞在して殷墟博物館を中心に甲骨文字資料をはじめとする殷墟の史跡や文物を見学し研修した。

語学研修では参加学生は中国語の現在の各自の実力を厳しく知り、予習・復習に専念して朝早くからの中国の大学のリズムに慣れて語学学習を深め語学力を増進させることができた。また、中国の学生や他国の留学生と交流の機会をもち中国語ときに日本語を介してコミュニケーションできたことや、中国での生活全般を通して異文化の中での生活を体験したことは彼らにとって貴重な体験となった。

後半の史跡・文物研修では中国の文化の源流にある甲骨文字資料やその時代を彷彿とさせる殷墟遺跡を実際に見学しそれに関する世界観や歴史的、文化的背景等をさまざまな観点から考察したこと、また移動過程において現代化途上にある中国の庶民生活をはじめとする社会の実態に直接ふれるという体験をしたことは、現地に立たなければ得られない貴重な知見を参加学生たちにもたらすことができた。

○研修期間全般にわたる感想

黒龍江大学は本学との交流協定校であるので、協定に即した便宜供与がなされ、学生たちは快適に学習を行うことができた。黒龍江大学の周到的な受け入れともてなしに感謝したい。

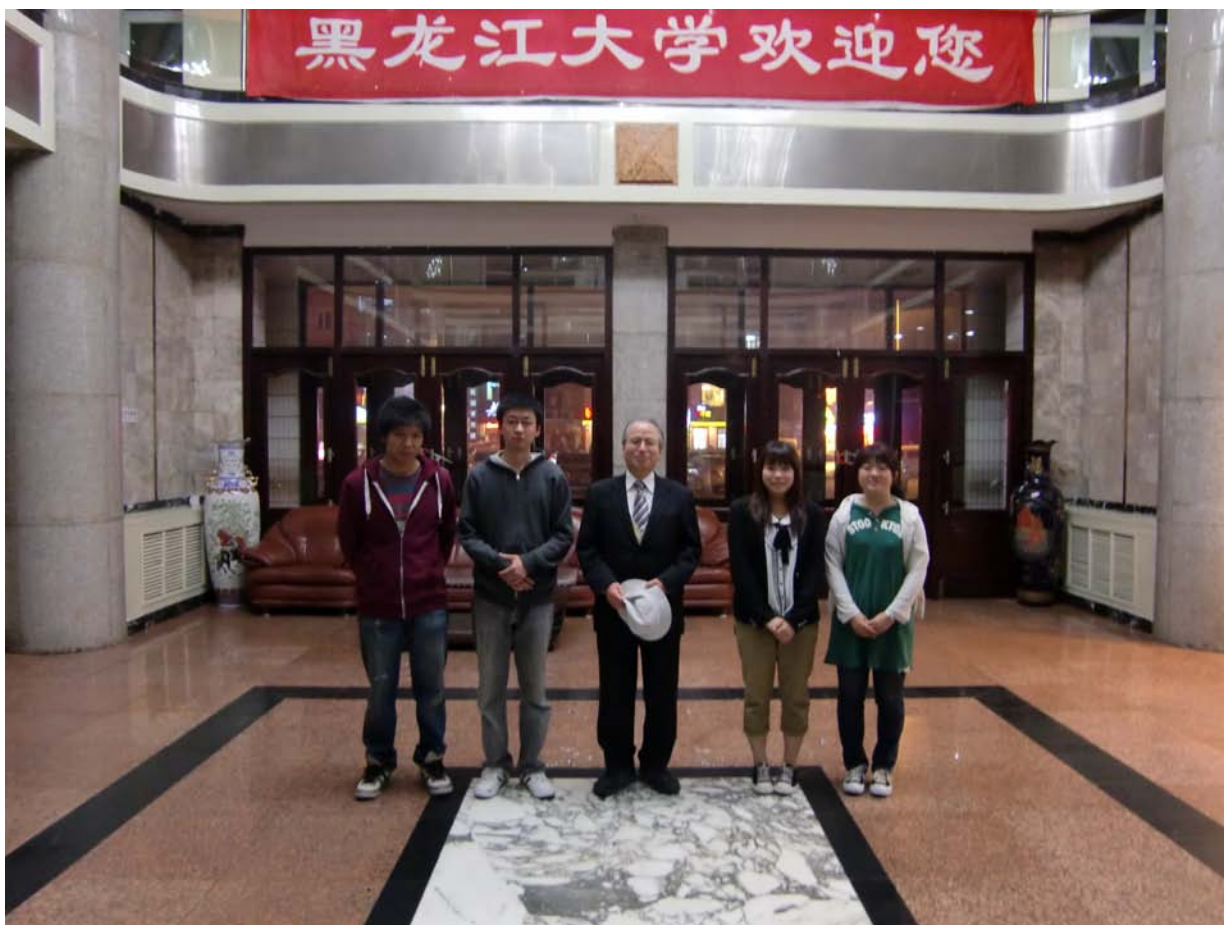
今回の語学研修は学生 3 名の参加、後半の史跡・文物研修は留学中の学生を含む 4 名の参加と、少人数であったこともあり、大きなトラブルや事故もなく一定の規律のもとに楽しく全研修行程を終えることができた。

特に哈爾濱での一週間の大学生活や地方都市安陽での四日間の滞在は学生が現代中国の学生や庶民の日常生活に触れる貴重な機会となった。やはり異文化理解においては「百聞は一見に如かず」である。

他方、中国での国内移動等の際には、やはり予期せぬ事態も発生した（北京市内では予定したタクシーが拾えず、路線バスに飛び乗りやっと汽車に間に合った、安陽から邯鄲へのバスは

(様式2)

大霧で高速道路閉鎖のため「五里霧中」を走破して無事邯鄲についた等々)。これらは引率者としてはおおむね想定範囲ではあったが、参加学生にとっては貴重な体験となったようである。



(様式 2)



(様式 2)

